

かわら版 創刊号

祝 水戸藩開藩四百年記念 『桜田門外ノ変』映画化支援の会 設立！

『桜田門外ノ変』

映画化の企画概要

題名 『桜田門外ノ変』
 原作 吉村 昭(新潮文庫)
 脚本 江良 至

【想定されるスケジュール】

平成 21 年 初春 クランケイン
 平成 21 年 暮れ 地元で先行上映
 平成 22 年 正月 全国公開



水戸藩開藩四百年記念 『桜田門外ノ変』映画化支援の会 設立！

水戸市の茨城県立図書館において8月7日に、『桜田門外ノ変』映画化支援の会の設立総会が開催され、多くの県民のみなさんと共に、『桜田門外ノ変』（吉村昭原作）の映画化を支援し、茨城県や関係市町村のPR、地域活性化を目指すことが確認されました。

この会は、来年の水戸藩開藩四百年に向け、2年前からの地元有志らによる、水戸藩にかかわる映画の実現を目指した構想が起点となっています。そして、今年3月3日に有識者らによる発起人会を立上げ、支援組織の設立準備を進めてきました。

茨城県内の各界も映画化を支援！

設立総会では、市町村長、商工経済団体、学校・教育団体など、県内各界の代表に出席いただき、映画化の支援、機運醸成、協力金の募集などの事業に取り組むことが決議されました。

会長には、狩野安・元参議院議員を選任、名誉会長に橋本昌・茨城県知事、副会長に加藤浩一・水戸市長、人見實徳・茨城文化団体連合会長など、また委員に地域団体や報道機関などの県内主要団体の方々、旧水戸藩領の市町村長が就任、茨城県全体で取り組む体制となっています。

シンポジウムや連続講座の開催

当会では、映画化に向けて制作会社との連絡・調整、『桜田門外ノ変』や水戸藩に関わるシンポジウムの開催、書店とタイアップした原作の感想文コンクール、ロケ支援などの活動を、県内各地で、地域の皆さんにご参加・ご協力いただきながら進めてまいります。

設立の趣意

江戸の末期、水戸藩の幕政改革をめざした学問・教育思想は、押し寄せる列強の脅威に対して、諸藩を「尊王攘夷」の旗印の下に糾合させるバックボーンとなりました。さらに、幕権回復のために断行された安政の大獄に起因する水戸藩浪士らによる「桜田門外ノ変」は、幕末日本に大きな転機をもたらし、雄藩や尊攘志士らの列強との交戦、続く明治維新への先駆けとなりました。

私たちは、水戸藩が最も熱く燃えた日々を郷土の美しい風景とともに映し出す『桜田門外ノ変』の映画化をめざします。

どうぞ皆さん、この映画づくり(ロケへの様々な支援、100万人の映画鑑賞運動など)と、それを起爆剤とした多彩なまちづくり活動(講演会や史跡めぐり、交流事業ほか)に、是非ご参加下さい。茨城はもとより日本全国に向けて、混迷する現代を見すえ新たな時代を切り拓く「機運」を醸成していきましょう。

『桜田門外ノ変』映画化支援の会 設立までの経緯

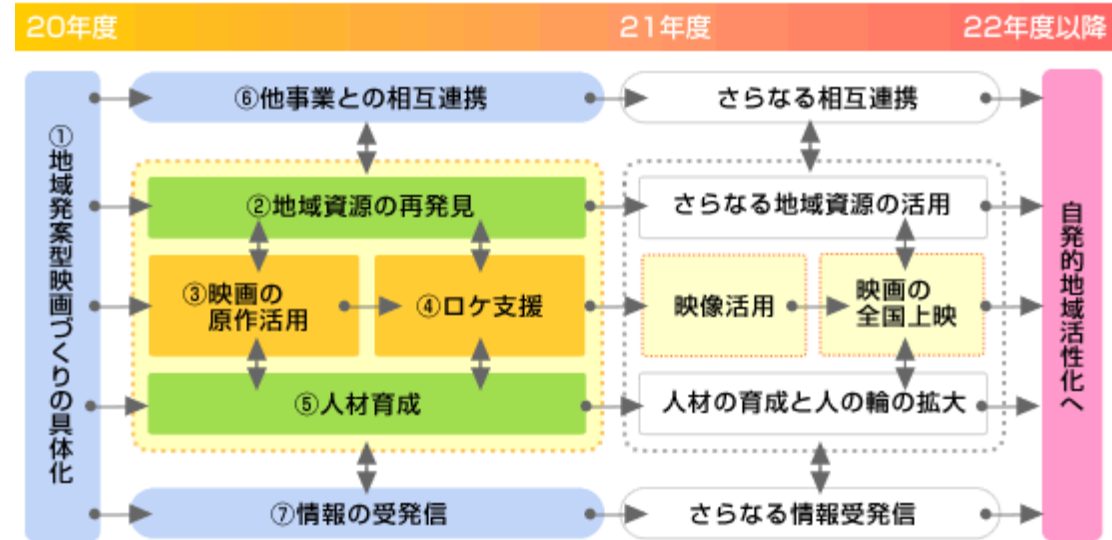
- 平成 18 年 1 月 水戸藩をテーマとした映画づくりについて有志が意見交換。
- 10 月 映画づくり、ひとづくり、まちづくりを連動させたプロジェクトを企画。
- 平成 19 年 11 月 吉村昭氏の小説『桜田門外ノ変』を原作とした映画づくりについて協議。
- 12 月 映画製作関係者と『桜田門外ノ変』の映画化の性格づけについて協議。
- 平成 20 年 1 月 『桜田門外ノ変』映画化支援の会設立準備会を開催。
- 2 月 各方面代表者に発起人を要請。
- 3 月 3 日 茨城県歴史館にて、**設立発起人会**を開催。
- 3 月 8 日 借楽園「夜・梅・祭」にて、事業を紹介。
- 5 月 地方の元気再生事業への応募。(7月に採択を受ける)
- 6 月 サイトの検討、各方面代表者への委員就任要請ほか設立総会の準備。
- 8 月 7 日 茨城県立図書館にて、**支援の会設立総会**を開催。プロジェクトの活動を開始。

推進する事業について

※「桜田門外ノ変」
 安政七年(一八六〇年)三月三日、勅許なく安政の仮条約に調印・開国し、安政の大獄などで攘夷派の弾圧を行った大老井伊直弼が、水戸・薩摩の浪士らに江戸城桜田門外で暗殺された事件。

- 一、支援の会として、『桜田門外ノ変』の映画化のための製作委員会に参画
 ◇茨城の地域づくりや地域振興に貢献しうる映画づくりを実現するための提案を進めます。
- 二、『桜田門外ノ変』の映画化を積極的に支援
 ◇県内ロケ(弘道館、借楽園等)の支援、エキストラのオーディションを実施します。
- 三、映画づくりを盛り上げ、茨城を再発見する機運を醸成
 ◇ロケの進行と連動した情報の発信、茨城の歴史・自然・文化を再発見する機運の醸成、百万人の映画鑑賞運動で、ともに映画を楽しみ、茨城を考えるキャンペーンを実施します。
- 四、映画づくりのための協力金・出資金・協賛金などの募集
- 五、そして、まちづくり、ひとづくりへ
 ◇映画上映後も、郷土の発展・向上、地域の活性化のための活動を継続します。

地方の元気再生事業を活用した『桜田門ノ変』映画化支援の会の活動概要



【地方の元気再生事業】
 持続可能な地方再生の取組を抜本的に進めるため、地域住民や団体の発意を受け、地域主体の様々な取組を立ち上がり段階から包括的・総合的に財政支援する制度です。政府の地域活性化統合本部が本年五月に公募し、全国から一八六件の応募がありました。そのうち、当事業は計二〇件が採択されました。支援の会の活動も、採択された事業の一つです。

【発行】平成20年9月7日
 水戸藩開藩四百年記念 『桜田門外ノ変』映画化支援の会

【問合せ/事務局】
 〒301-0011 水戸市三の丸1-5-38
 電話/ファックス：029-303-0310
 Eメール：info@mitoppo.jp

ホームページもご覧下さい。
<http://www.mitoppo.jp>

自分流でお楽しみください
 『桜田門外ノ変』の映画化に、向けた多彩な取組みが、これから本格的に始まります。私たち支援の会は、より多くの皆さんとの様々なかたちでの出会いを期待しています。ふりさとの歴史や自然を学んだり、山歩きやサイクリングで体を動かし、原作的に、ロケでのエキストラ出演やほかの支援活動に挑戦したり、...など。どうぞ自分流でお楽しみ下さい。

私たちと共に、映画づくり・地域づくりの活動を盛り上げていただけるボランティアスタッフを募集しています。一緒に活動していただける同志の方、事務局までご連絡下さい。